

J Aでの保育園運営を通じた 地域とのつながり強化

「地域の未来を育む取り組み」



J A福島さくら 影山 清明

 未来を担う将来ビジョン

人と地域をつなぎ、
未来を担う世代を育む拠点として、
「地域から信頼されるJA」
を築く





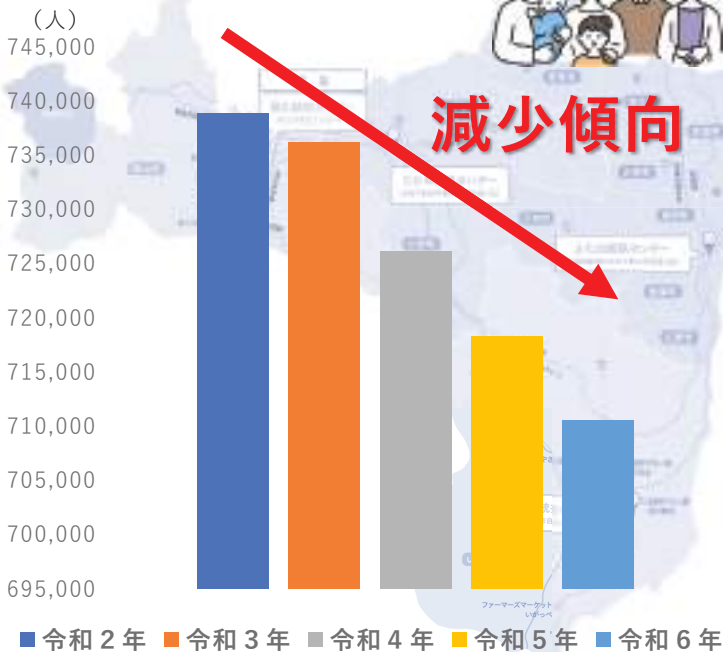
SWOT分析

	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
内部環境	<p><u>地産地消と食育活動の推進</u></p> 	<p><u>組合員の高齢化</u></p> 
外部環境	<p><u>健康志向と食の安全安心の高まり</u></p> 	<p><u>都市部への人口流出</u></p> 

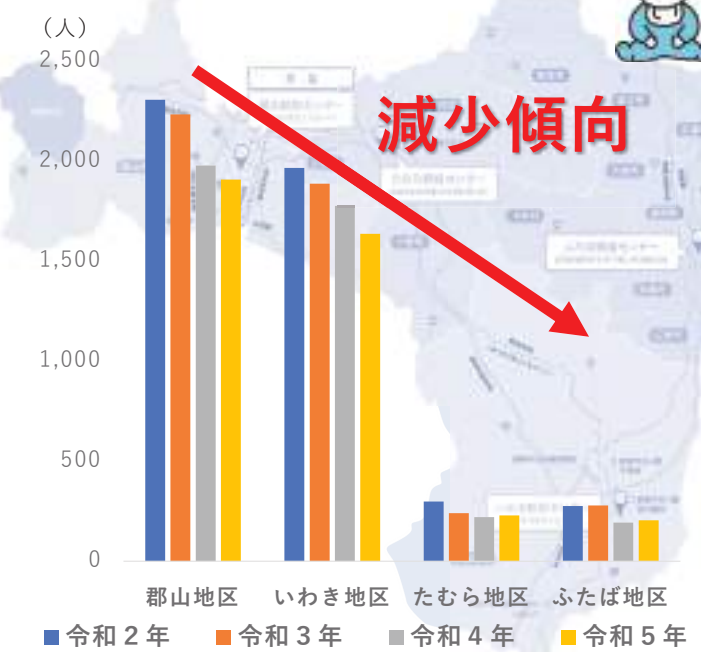


現状分析

J A 福島さくら管内の人口

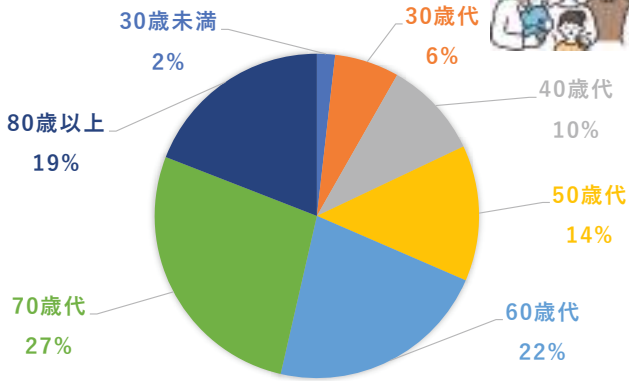


J A 福島さくら管内の出生数

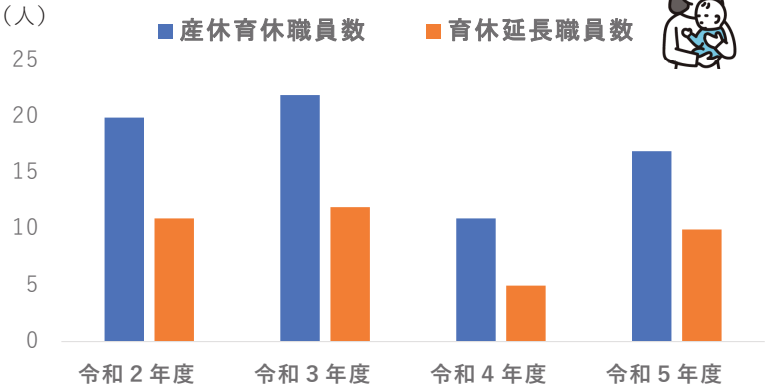


現状分析と課題

J A 福島さくら年代別組合員数の割合



J A 福島さくら産休育休職員数と育休延長職員数



課題 1

・ 少子化と共働き世帯の増加

課題 2


・ 組合員の高齢化と次世代層の J A 離れ

課題 3

・ 地域の保育ニーズの高まり

現状分析


准組合員: JAIに期待する活動



		(%)	N数	園芸塾等の栽培技術を学ぶ講座	農業所得の向上や起業のためのビジネス講座	有志による技術開発のサポート	市民農園・体験型農園	子供たちへの農業体験(食農教育)	料理・農産物加工等の教室	地域が集まれるお祭り等のイベント	旅行・コンサートなどのレクリエーションイベント	趣味等に応じて仲間が集まれるサークル活動	高齢者の生きがいを促すための活動	介護や福祉に関する活動	地域環境をよくするための活動	その他	特にない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	79	10.1	20.3	5.1	16.5	39.2	17.7	35.4	15.2	8.9	15.2	13.9	32.9	1.3	17.7	0.0
		50歳～64歳	101	24.8	21.8	11.9	12.9	20.8	11.9	22.8	17.8	10.9	13.9	20.8	18.8	1.0	16.8	1.0
		65歳～74歳	66	22.7	9.1	1.5	7.6	21.2	9.1	31.8	21.2	22.7	36.4	16.7	27.3	1.5	12.1	1.5
		75歳以上	24	12.5	12.5	4.2	0.0	8.3	12.5	37.5	33.3	20.8	41.7	25.0	29.2	4.2	0.0	4.2
女性	49歳以下	42	26.2	14.3	7.1	16.7	50.0	26.2	28.6	14.3	9.5	16.7	16.7	26.2	0.0	16.7	0.0	
	50歳～64歳	49	16.3	14.3	2.0	12.2	26.5	28.6	20.4	30.6	18.4	24.5	24.5	16.3	2.0	10.2	0.0	
	65歳～74歳	73	26.0	6.8	1.4	8.2	16.4	31.5	20.5	30.1	24.7	28.8	12.3	19.2	1.4	8.2	5.5	
	75歳以上	18	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6	44.4	11.1	27.8	5.6	72.2	22.2	27.8	0.0	5.6	5.6	
准組合員合計			458	20.1	14.2	5.0	11.1	25.3	20.1	26.6	21.8	15.3	24.7	17.7	23.8	1.3	12.9	2.2
全国平均				16.6	7.4	2.8	7.4	16.4	15.4	17.8	17.6	11.2	24.5	15.2	19.0	2.1	19.0	6.3

現状分析

准組合員：JAに期待する役割



		(%)	N数	地域農業の振興、担い手経営の支援、農地の保全など、農業の支援	健康、福祉、介護を含む地域生活の幅広いサポート	身近で安心できる金融サービスの提供(資産管理や相続などの相談も含む)	安心できる農産物、食料品の提供	あまり期待しない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	79	62.0	39.2	58.2	75.9	2.5	0.0
		50歳～64歳	101	57.4	39.6	55.4	60.4	5.9	1.0
		65歳～74歳	66	54.5	62.1	45.5	71.2	9.1	1.5
		75歳以上	24	50.0	70.8	33.3	45.8	0.0	4.2
	女性	49歳以下	42	59.5	45.2	45.2	61.9	4.8	0.0
		50歳～64歳	49	51.0	46.9	55.1	65.3	4.1	0.0
		65歳～74歳	73	52.1	61.6	46.6	64.4	4.1	5.5
		75歳以上	18	66.7	72.2	77.8	72.2	0.0	0.0
准組合員合計			458	56.1	50.2	51.3	65.1	4.6	2.0
全国平均				46.7	40.1	42.3	64.7	5.5	4.6

クロス分析

	機会 (O)	脅威 (T)
【ビジョン】 保育事業により次世代の地域住民との接点を拡大し、地域農業の認知拡大や担い手育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ニーズの高まり 「食の安全性」への社会的関心 地産地消の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の保育事業者との競争 法規制対応の課題 保護者の選択肢増加
強み (S)	(O×S) 積極的な攻撃	(T×S) 差別化戦略
<ul style="list-style-type: none"> 安全・新鮮な農作物を提供 独自の食育活動 地域密着型の信頼性 	地産地消と食育活動の推進 地域密着型保育園のPR イベントによる認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> 差別化された保育サービスの提供 法規制対応の強化 リソース補完による効率化
弱み (W)	(O×W) 段階的施策	(T×W) 防衛または撤退
<ul style="list-style-type: none"> 保育事業の経験不足 スタッフの業務負担 リソースの限定性 	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家の活用 スタッフ育成プログラム 地域住民の協力体制 	<ul style="list-style-type: none"> パートナーシップの構築 段階的な事業展開 リスクマネジメント体制の構築

直売所隣接保育園設置の提案

【テーマ】 食料提供力・暮らしを支える活動の強化

【目的】 地域の幼児・未就学児を対象とした J A 直売所隣接保育園を設置し、

- ① 地域住民の暮らしに密着した保育サービスを提供する。
- ② 隣接に直売所の利用によって子育て世帯に農産物の魅力を感じてもらう。

【概要】 ① J A 直売所敷地内に保育園を設置する。運営は企業主導型保育の形をとる。

② 保育園における食事は、直売所内の農産物を利用する。

③ 地産地消や農業体験を通じた J A の地域活性型の強みを活かす。

ねらい

- ・ 農産物を利用した食事の提供により食の大切さを発信。
- ・ 保護者、地域住民の交流を促進し、帰属意識を高める。

対象顧客

- ・ 直売所所在地内の子育て世帯
- ・ J A 職員



リソース

- 外) 施設等物資資源
- 外) 助成金・補助金
- 外) 保育スタッフ
- 外) 施設管理者
- 内) 補助・事務スタッフ
- 内) J A 管内農産物

収支 +) 収益、-) 支出

- + 保育・給食収入
- + 直売所利用収益
- 施設・食事関連費
- 事務・行政手続き費
- マーケティング費
- 人件費

直売所隣接型保育園の提案概要

保育園

保育園での幼児預かり
J A ブランド力向上

直売所

食材提供

↓

給食提供

J A 農産物を活用した
地元産食材を給食の提供

季節ごとの農業体験
や親子イベント

実現に向けたスケジュール

- I. 市場調査と事業計画書作成
- II. プロジェクトチームの立ち上げ
- III. 施設設計と施工開始
- IV. 保育専門人材の採用と配置
- V. 保育園開設と運営開始



I
調査と計画
1～2ヶ月

II
チーム結成
3ヶ月

III
設計と計画
4～6ヶ月

IV
人材採用
7ヶ月

V
開設と運営
9ヶ月

期待される効果

地域住民との関係強化とJAのブランド向上

地域経済の活性化

組合員数の増加

子育て世帯の支援



JAの福利厚生充実

農業担い手の育成と確保

保育事業を軸とした多面的なJA事業利用促進

終わりに

本提案は、JA福島さくらの新たな挑戦であり、地域社会と未来を築く第一歩である。
地域住民や自治体と協力し、次世代に希望をつなぐため、全力で取り組む。

